

国語科で育成すべき資質・能力を考えるに当たっての、各学校段階における卒業時の姿(検討のたたき台)

	現行学習指導要領の目標	知的活動の側面	感性・情緒の側面	コミュニケーションの側面
高等学校	国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	例えば、 <u>社会問題や文化・思想などの課題</u> について、 <u>新書や新聞社説</u> などから必要な情報を収集し、 <u>整理・解釈しながら得られた知見を体系的にまとめ、論拠の妥当性を吟味しながら、具体的かつ効果的に短い論文を書くことができる。</u>	例えば、 <u>背景となる時代や社会の知識を要し、複雑な構成や巧みな修辞技法が用いられ、人物の言動の変化に象徴性が込められた長編小説</u> を選んで読み、人物、情景、心情の精緻な描写などを、 <u>自分の経験と結び付けて評価したり、想像したりしながら捉えることによって、ものの見方、感じ方、考えを深め、他者との関わりや自らの生き方への生かし方などに関する意見や感想を書いたり話したりすることができる。</u>	例えば、 <u>社会問題等に対する意見や取るべき行動</u> について、時間や方法の制約を踏まえて計画的かつ柔軟に話し合い、 <u>根拠に基づく予測に応じた賛否や妥協案、留保や再協議の判断</u> 等も含めた合意形成を図ったり、 <u>他者の意見や感想から優れた点や新たな発見</u> を見いだすことができる。
中学校	国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。	例えば、 <u>社会に関わる問題</u> について、 <u>本や新聞、インターネット</u> などから必要な情報を収集し、それらを <u>整理・関係付けながら、適切な根拠を示した上で自分の考えを論理的に表現</u> することができる。	例えば、 <u>人物の行動に葛藤が含まれる物語や随想</u> を選んで読み、人物の関係性や情景の描写などを <u>自分の経験と結び付けて想像したり、文章の構成や展開、表現の仕方などを他の本と比較して評価したりすることによって、自分の考えをまとめて他者に伝える</u> ことができる。	例えば、 <u>社会生活の中における様々な事柄</u> について、状況に応じて時間や方法を決めて計画的に話し合い、 <u>条件付きの賛否や折衷案、保留や継続の判断</u> 等も含めた合意形成を図ったり、 <u>他者の意見や感想を踏まえて自分の考えを深めたり広げたり</u> することができる。
小学校	国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。	例えば、 <u>身近な問題</u> について、必要な本や情報を選び、集めた情報を <u>比較・関係付けて理解し、理由や事例を挙げながら、自分の考えを筋道立てて表現</u> することができる。	例えば、 <u>読みたい詩や物語</u> を自ら選び、登場人物の言動や心情を <u>自分の体験や思いと結び付けて理解したり、叙述を基に情景を想像したりしながら読み、その良さを他者に伝える</u> ことができる。	例えば、 <u>日常生活において関心のある事柄</u> について、計画的に話し合い、互いの考えを比較検討して合意形成を図ることができる。